SANNO e ACADEMY

GUIDE BOOK

学校法人 産業能率大学 総合研究所

学びがつながる。
可能性が広がる。

人は誰でも成長するチカラを持っています。

与えられた学びではなく、自分の興味から広がる知識の探求が、

そのチカラを伸ばしてくれる。

SANNO e ACADEMYは、自ら学ぶ習慣をサポートするeラーニング。

自分にあった学びを、自由に、着実に。

気づきや発見が次の学びへの意欲を引き出し、学びがつながることで、

徐々に知見を深めていく。

その先に、個人と組織の新しい可能性が広がっていきます。

SANNO e ACADEMY

豊富なコース群をいつでもどこでも学び放題！

16ジャンル・約600コースから、自身の学習テーマに合わせて学びをカスタマイズできます。
PC・スマホ・タブレット端末（ブラウザ利用）対応で、隙間時間の有効活用にも最適です。

コースは随時追加中！

ニーズやトレンドを踏まえたテーマや定番テーマの新コースが随時追加されるため、継続して学習いただけます。新たな知見を手に入れるために、リピート受講もおすすめです。

あらゆるレベルの方に適した充実のコース群！

内定者から管理者層、初心者から上級者まで、あらゆる階層やレベルの方に適したコースをラインアップ。
それぞれのキャリアパスやスキルアップに合わせた学習が可能です。

INDEX

P.02　SANNO e ACADEMY の特長
P.04　学習ジャンル
P.06　ジャンル別コース一覧
P.26　学習者用機能
P.28　管理者用機能
P.30　活用パターン/人気コース&ジャンルランキング
P.34　当サービスのご案内
P.36　運用フロー / 動作環境

選べる2つの学習スタイル

自己啓発学習
P.30

通信教育
メニューの1つ
として活用

対象者必須学習
P.32

一斉教育の手段の
1つとして活用

他の研修と
組み合わせて
活用

定額で受け放題

約600のコースから好きなだけ学習できるお得なサービスです。

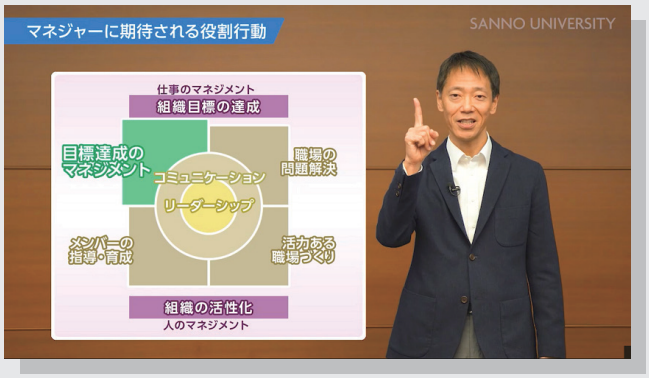
年間プラン 17,600円（税込）／人　半年プラン 9,900円（税込）／人

働くすべての人の学びたい思いや課題に応える ジャンルとコースラインアップ

ビジネスですぐに実践活用できるコースやアカデミックな知見と教養が身につくコースを多数ラインアップ。
ご受講者に幅広い学びの場を提供します。

ビジネスの実践場面で役立つコンテンツ

社会人向けの研修を担当している講師が、ビジネススキルやマネジメントスキルをわかりやすく説明します。
また、トレンドを押さえたコースも随時追加されており、明日使える知識・スキルを気軽に学ぶことができます。



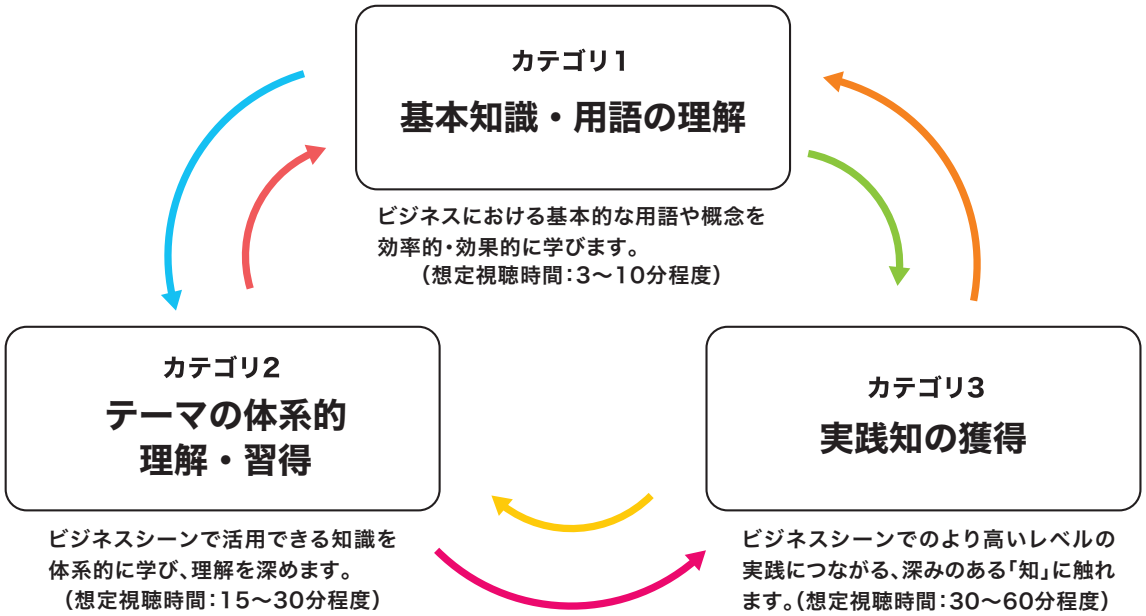
アカデミックな知見と教養が身につくコンテンツ

大学の講義で実際に使用されている動画や人気講師の講義が視聴できます。
英会話、日本史や環境問題など、ビジネスパーソンとして身につけたい教養を学ぶことができます。

RK English

多様な学習スタイルに対応

幅広いジャンルの基本知識をじっくり学ぶ、気になるテーマに絞って深く学ぶなど、多様な学習スタイルに対応します。



SANNO e ACADEMY の動画は、ご受講者の理解を促進する工夫がされており、継続的な学びをサポートします。

1 ご受講者が学習しやすいように、テロップや BGM を効果的に使用しています。
また、重要な部分は CG 図解が表示され、ポイントをしっかり押さえながら学習できます。

2 その場で講義を受けているような臨場感があり、講師の熱意が伝わる動画が視聴できます。

3 「再生速度切替」「字幕表示」「チャプター表示」など、ご受講者の動画視聴を快適にする機能が搭載されています。

※デバイスやブラウザ等によって、利用できる機能が異なる場合があります。

SANNO e ACADEMY 学習ジャンル

働くすべての人の課題や興味・関心にマッチしたコンテンツを提供します。

P.06・07

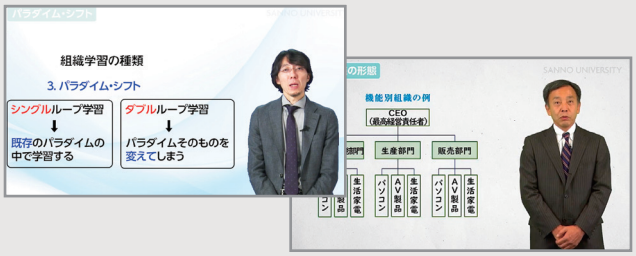
マネジメント・リーダーシップ

マネジメントの基本的概念と、他者への効果的な影響力の発揮を学ぶ。

P.08

組織・人材

組織の構造と変革の重要性を学びながら、成果を出す組織づくりを目指す。



P.09

経営戦略

経営分析の基本であるフレームワークや経営手法を学び、戦略策定能力を身につける。

P.10

ビジネスベーシック

ビジネスの土台となるマナーやルールを学び、社会人としての基礎能力を高める。

P.11

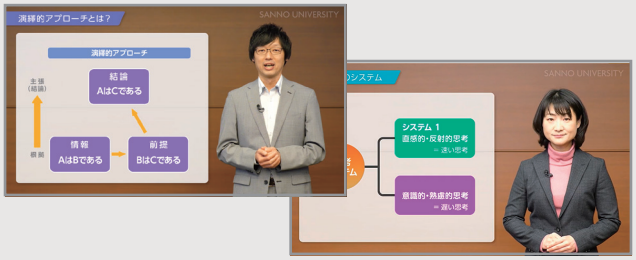
コミュニケーション

さまざまな相手と円滑に意思疎通し、課題解決につなげるためのコミュニケーションスキルを養う。

P.12

問題解決・思考力

論理的思考のポイントと問題解決のステップを学び、あらゆるビジネスに必須である多角的な判断力を養う。



P.13

DX・テクノロジー

DX推進に必要な知識と、デジタルテクノロジー、データ分析の基礎を学ぶ。

NEW!

P.14

マーケティング

基本的なマーケティングのフレームワークや、デジタルマーケティングの基礎について学ぶ。

※ジャンル、学習コースは、変更になる場合があります。

会計・財務

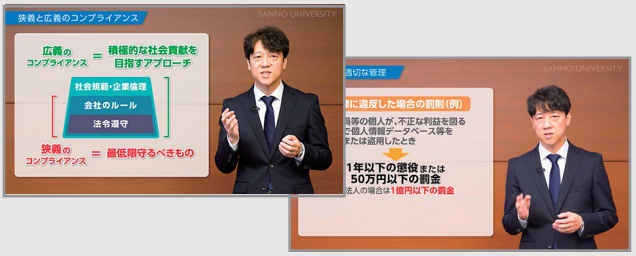
P.15

財務3表の読み方や財務分析手法を学び、
業務に生かせる会計知識を身につける。

コンプライアンス

P.16

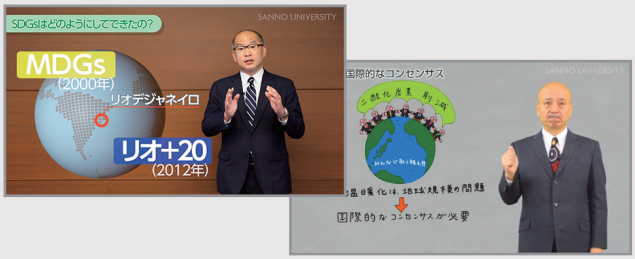
企業活動の根幹を支えるコンプライアンスの基礎を
学ぶ。



環境・SDGs

P.17・18

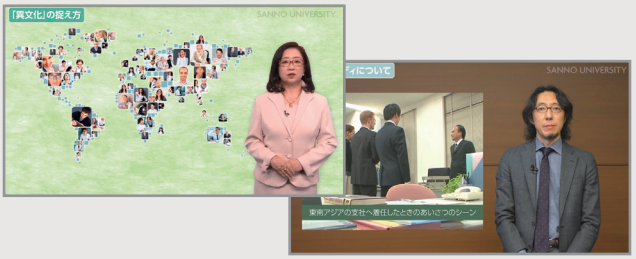
環境問題やSDGsに関する理解を深め、ビジネスや
日常生活に生かす。



グローバル

P.19

異文化理解の考え方を学び、異文化コミュニケーション
の基礎を身につける。



英語

P.20・21

英語の実践的な発音や英語の表現方法について
学ぶ。

RK English

リベラルアーツ

P.22・23

幅広い知識や視野を身につけ、多様化する社会に柔軟
に対応できる人材の育成を目指す。

ビジネストレンド

P.24

ビジネスに役立つ新たな注目ワードや概念を学ぶ。

SANNO LIVE

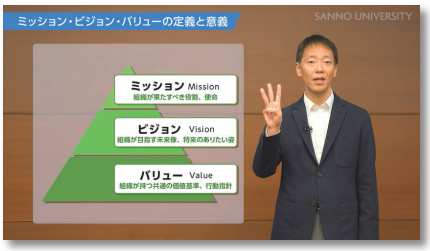
P.25

ライブ形式で実施された大学・大学院での講義、
有識者による対談やインタビューから学びを広げる。

※SANNO LIVEのコースは、過去の講義やライブ配信などを収録・編集した映像教材です。

マネジメント・リーダーシップ①（70コース）

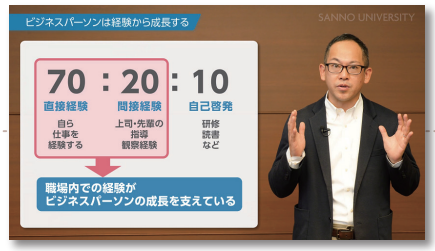
	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	マネジメント	01	マネジメントとは
		02	ミッション・ビジョン・バリュー
		03	PDCAサイクル
		04	OODAループ
		05	連結ピン
		06	エンパワーメント
		07	フェアプロセス
		08	コンフリクトマネジメント
	リーダーシップ	09	リーダーシップの定義 ～リーダーとフォロワー～
		10	リーダーシップ研究「行動アプローチ」
		11	リーダーシップ研究「資質アプローチ」
		12	変革型リーダーシップ
		13	フォロワーシップ
		14	シェアド・リーダーシップ
		15	サーバント・リーダーシップ
		16	SL理論
	ファシリテーション	17	ファシリテーションの概要
		18	ファシリテーションの7つの基本技術
		19	ファシリテーションの上達方法
	組織変革	20	組織変革プロセス
		21	組織構造
		22	SECIモデル
		23	7S
		24	カッツモデル
		25	ティール組織
		26	リーダーの影響力とフォロワーの認識
		27	組織の発展段階
	動機付け	28	マグレガーのXY理論
		29	動機付け・衛生要因
		30	人間の欲求の段階 ～マズローの欲求5段階説～
		31	2つの動機付け
		32	内発的動機付け
	キャリア	33	パーソナリティ（性格特性）
	ダイバーシティ	34	ダイバーシティとは
		35	職場におけるダイバーシティ
		36	時間制約のある人材への対応
		37	中高年齢者への対応



※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

マネジメント・リーダーシップ②（70コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	人事評価	38	人事評価の枠組み
		39	人事評価の基本プロセス
		40	人事評価と面談
	労務管理	41	労務管理の基礎 NEW
		42	労務管理で押さえておきたい法律 NEW
		43	働きやすい職場環境づくり NEW
	指導・育成	44	コーチングの3つのスキル
		45	フィードバック
		46	1 on 1
		47	価値の内在化
		48	OJTとは
		49	OJTリーダーに任命されたら
		50	OJTの進め方
		51	ＯＪＴリーダーの観察力
		52	ＯＪＴ計画書の書き方
カテゴリ2		53	リーダーシップを磨く道
		54	ダイバーシティ・マネジメント ～基礎編～
		55	標準化とは
		56	生産工程の改善
		57	ヒエラルキーによる管理
		58	目標による管理
		59	人事評価
		60	メンバーの育成 基礎・関係構築編
		61	メンバーの育成 運用編
		62	メンバーの育成 応用編
カテゴリ3		63	現場の視点からマネジメントを考えるⅠ　現場当事者の目線から見えてくるもの NEW
		64	現場の視点からマネジメントを考えるⅡ　個人的、主観的、暗黙的な知恵を活かす NEW
		65	現場の視点からマネジメントを考えるⅢ　日常と変革、2つのマネジメント NEW
		66	リーダーとしての視座と振る舞い テーマⅠ リーダー行動を支える立脚点 ～<観・想・志>を研ぎ澄ます～
		67	リーダーとしての視座と振る舞い テーマⅡ マネジメント活動の要諦 ～考えて決断し、説明して実行する～
		68	リーダーとしての視座と振る舞い テーマⅢ リーダーシップの探究 ～影響を与えて、フォロワーを生みだす～
		69	リーダーとしての視座と振る舞い テーマⅣ 組織マネジメントへの眼差し ～面倒なことでも主体的に取り組む～
		70	リーダーのための哲学対話

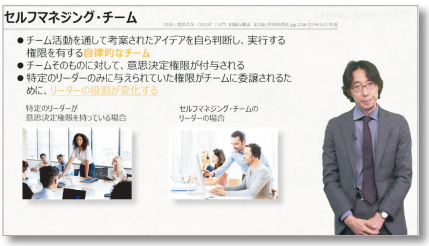


NEW 2024年1～10月リリース

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

組織・人材（35コース）

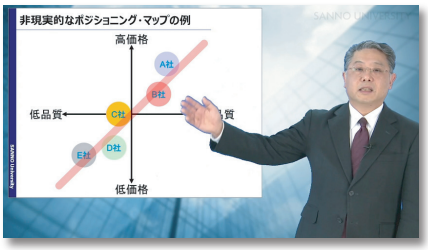
カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	集団における心理	01	能動的惰性
		02	正常性バイアス
		03	集団極性化と集団思考
		04	チーム成功の条件
		05	自己効力感
		06	シングルループとダブルループ
		07	意思決定バイアス
		08	集団規範と集団圧力
		09	人間行動の基本モデル
	組織構造	10	組織とは ～組織の3要件～
		11	マトリクス組織
		12	機能別組織と事業部制組織
		13	分業とAI
		14	ライン＆スタッフ組織
		15	分業と調整
	組織学習	16	組織学習理論
		17	アンラーニングと組織ルーティン
		18	成功の循環モデル
		19	正統的周辺参加
		20	実践共同体
	人材管理	21	組織コミットメント
		22	プロフェッショナルのマネジメント
		23	組織市民行動
		24	人間観の変遷
		25	組織社会化
	組織変革	26	組織変革
		27	組織デザインと戦略形成
		28	組織文化
		29	ボトルネック
カテゴリ2		30	チーム・マネジメント ～基礎編～
		31	キャリア・マネジメント
		32	人材の採用と評価
		33	組織文化がもたらす影響
		34	内発的動機付けと外発的動機付け
		35	組織変革：求められる背景とプロセス



※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

経営戦略（40コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	企業と戦略	01	経営理念
		02	ビジョン
		03	成長戦略と競争戦略
		04	企業戦略・事業戦略・機能別戦略
	経営戦略のPDCA	05	経営資源の調達 ～内部成長と外部成長～
		06	経営環境分析 ～4つのフレームワーク～
	成長戦略	07	製品ライフサイクル
		08	ドメイン
		09	ドメインの物理的定義と機能的定義
		10	多角化
		11	戦略的事業撤退
		12	垂直統合
		13	アジアの後発メーカーの成長プロセスとメリット
	競争戦略	14	バリューチェーン
		15	ポジショニングマップ
		16	先行優位性
		17	VRIO分析
		18	4つの競争戦略
		19	地位別競争戦略 ～4つのプレーヤーと戦略～
		20	参入障壁と移動障壁
		21	サムスングループの電子産業への参入
		22	台湾の電子産業への参入
		23	鴻海精密工業の発展
	機能別戦略	24	物流戦略
	イノベーション	25	イノベーション
		26	イノベーションのジレンマ
		27	ドミナント・デザイン
		28	デスバレー
		29	オープンイノベーション
カテゴリ2		30	戦略の基本概念
		31	成長戦略① 成長戦略としての多角化
		32	成長戦略② PPMとM&A、国際戦略
		33	競争戦略① ポジショニングの戦略
		34	競争戦略② 顧客への適合戦略
カテゴリ3		35	チキンラーメン開発物語
		36	鉄道事業の牽引者たち
		37	ソニーのチャレンジスピリッツ
		38	女性企業家の活躍
		39	本田宗一郎の「夢の力」
		40	米国ＩＴ企業にみるイノベーション



※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

ビジネスベーシック（24コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	ビジネスマナー	01	身だしなみ
		02	あいさつ
		03	お辞儀の仕方
		04	敬語（作り方）
		05	名刺交換
		06	席次のマナー
		07	来客応対のマナー
		08	SNSの心得
		09	携帯電話のマナー
	仕事の進め方	10	仕事への向き合い方
		11	周囲の期待に応える
		12	自ら考え抜く
		13	報告・連絡・相談
		14	仕事の段取り
		15	段取り力
		16	ムダ取り・時間短縮
		17	生産性向上のためのタイムマネジメント
	会社の仕組み	18	企業について考える NEW
		19	システム論から企業を考える NEW
カテゴリ2		20	他社訪問
		21	新入社員としての心得
		22	仕事の仕方 ～指示・命令の受け方～
		23	仕事の仕方 ～日常のPDCAサイクル～
		24	社会における企業の役割 NEW

NEW 2024年1～10月リリース

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

コミュニケーション（34コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	基礎的なコミュニケーション	01	コミュニケーションとは
		02	コミュニケーションと雑音源（ノイズ）
		03	ノンバーバル・コミュニケーションの意味と特性
		04	メラービアンの法則
		05	エゴグラム
		06	ジョハリの窓
		07	交流分析
		08	自己開示
	スキルとしてのコミュニケーション	09	積極的傾聴
		10	コミュニケーションにおける沈黙の重要性
		11	真の対人関係を築く2つの要素
		12	アサーション
	交渉とは	13	交渉とは何か
		14	論理的に交渉相手の納得度を高める視点
		15	WIN - WIN型交渉
		16	ゼロ・サム型交渉
		17	交渉のレトリック
		18	パワーバランス
		19	BATNA
		20	ZOPA
	情報収集の話法	21	思い込み質問法
		22	イメージ質問法
		23	投影法
	非合理的な判断	24	アンカリング
		25	フレーミング
	戦略的な判断	26	ゲーム理論 ～囚人のジレンマ～
		27	一対比較法
カテゴリ2		28	ソーシャル・スタイル
		29	他者理解・積極的傾聴
		30	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
		31	自己表現とアサーション
		32	交渉の戦略ストーリー
		33	交渉のプレゼンテーション
		34	成功するプレゼンテーション

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

問題解決・思考力(44コース)

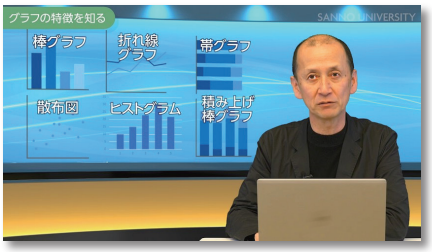
カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	問題解決と思考力	01	思考力を伸ばすには
		02	問題とは
		03	思考力を発揮した問題解決
	ロジカルシンキング	04	どうすれば論理的思考ができるのか
		05	論理的な筋道の立て方 ～演繹的アプローチ～
		06	論理的な筋道の立て方 ～帰納的アプローチ～
		07	論理的思考の原則 ～MECE～
	クリエイティブシンキング	08	解決策立案に必要な創造力
		09	発散思考と収束思考
		10	アイデア出しの3大技法
		11	アイデア出しの技法① ～ブレインストーミング法～
		12	アイデア出しの技法② ～焦点法～
		13	アイデア出しの技法③ ～NM法～
		14	デザイン思考
	問題発見	15	どうすれば問題を発見できるのか
		16	事実を多様な観点から捉える
	原因分析	17	因果関係とは
		18	ロジックツリー
	課題設定	19	問題と課題の違い
		20	課題設定のポイント
	解決案策定	21	アイデア評価
	意思決定	22	AHP ～階層分析法～
	情報分析	23	情報分析とは何をどうすることなのか NEW
		24	情報分析の意義 NEW
		25	情報分析の際の心構え NEW
	QC手法	26	QCストーリー NEW
		27	ヒストグラム NEW
		28	特性要因図 NEW
		29	散布図 NEW
		30	管理図 NEW
		31	層別 NEW
		32	系統図法 NEW
		33	マトリックス図法 NEW
		34	パレート図 NEW
		35	連関図法 NEW
	IE手法	36	IE手法体系 NEW
		37	製品工程分析 NEW
		38	作業者工程分析 NEW
		39	動作分析 NEW
		40	時間研究 NEW
カテゴリ2		41	意思決定とバイアス、合意形成
		42	クリティカル・シンキング
		43	仮説思考
		44	問題解決の基礎 NEW

NEW 2024年1～10月リリース　NEW 2024年11月～2025年2月リリース予定

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

DX・テクノロジー（30コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	DX	01	DXとは
		02	DX実現のカギ
		03	DXマインドとスキル
		04	リスキリングとは
		05	企業におけるDXの事例
		06	いまさら聞けないAI
		07	これだけは知っておきたいデータサイエンス
		08	いま求められるプログラミング的思考
		09	ビジネスデータ分析のポイント
		10	対話型AI ～ChatGPT～
		11	生成AIのビジネス活用 ～データの集計・分析～ NEW
		12	XR（クロス・リアリティー）
		13	ブロックチェーン
		14	職場のDX ～デジタル化による業務プロセスの改善～ NEW
	ICTの基礎知識	15	クラウドと仮想化
		16	インターネットとTCP/IP
		17	HTTPとプロトコル
		18	LANとWAN
		19	USB
		20	Wi-FiとBluetooth
		21	ビットとバイト
		22	半導体 NEW
		23	VPN NEW
		24	暗号化 NEW
	データ分析の基礎	25	データのバラツキを見る ～分散・標準偏差～ NEW
		26	データどうしの関係の強さを見る ～相関分析～ NEW
		27	データの傾向から予測する ～回帰分析～ NEW
カテゴリ2	データ分析の基礎	28	データハンドリングとデータ解析の初歩
		29	統計解析で問題解決 ～統計的検定編～
		30	統計解析で問題解決 ～回帰分析編～



NEW 2024年1～10月リリース　NEW 2024年11月～2025年3月リリース予定

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

マーケティング（16コース）

NEW!

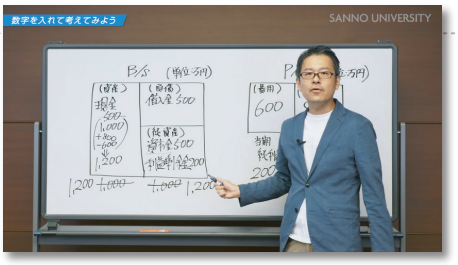
カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	マーケティングの基本	01	マーケティングとは NEW
		02	3C NEW
		03	STP NEW
		04	4P NEW
		05	ファイブフォース分析
		06	SWOT分析とクロス分析
	デジタルマーケティング	07	デジタル社会におけるマーケティングの潮流
		08	デジタル財とは
		09	ダイナミック・プライシング
		10	オムニチャネル
		11	トリプルメディア
		12	パーミッション・マーケティング
		13	クラウドソーシング
		14	サブスクリプション
		15	D2C
		16	共同格付け ～ランキング、レビュー、口コミ～

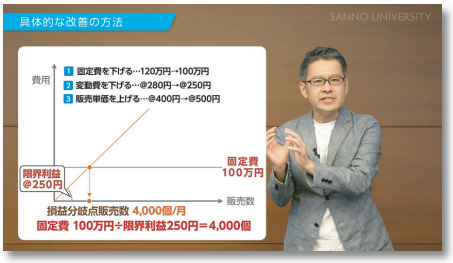
NEW 2024年1～10月リリース

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

会計・財務（32コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	財務会計と管理会計	01	財務会計と管理会計とファイナンスの違い
	財務会計	02	貸借対照表
		03	損益計算書
		04	損益計算書と貸借対照表の関係
		05	会計でつまずくポイント1（利益剰余金）
		06	会計でつまずくポイント2（売上原価）
		07	会計でつまずくポイント3（減価償却）
		08	財務3表の違い
		09	利益とキャッシュの違い
		10	キャッシュフロー計算書の概要
		11	キャッシュフロー計算書を読み解く
	管理会計	12	成長性の分析
		13	収益性の分析
		14	安全性の分析
		15	効率性の分析
		16	キャッシュ不足日数分析
		17	総合分析（ROA・ROE）
		18	不景気になると原価率が上がる仕組み
		19	損益分岐点1（費用を分解する）
		20	損益分岐点2（いくら販売すればよいのかを考える）
		21	損益分岐点3（損益分岐点の改善）
		22	損益分岐点4（変動費型企業と固定費型企業）
		23	利益率を高める5つのパターン
		24	コスト削減の考え方
	ファイナンス	25	投資判断を行う3つの手法
		26	回収期間法
		27	貨幣の時間的価値
		28	資本コストとは
		29	正味現在価値法（NPV）
		30	内部利益率（IRR）
カテゴリ2		31	財務諸表から会社を読み解く
		32	会計思考力

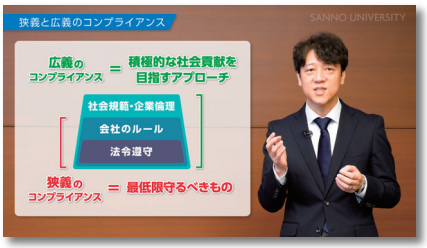




※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

コンプライアンス(10コース)

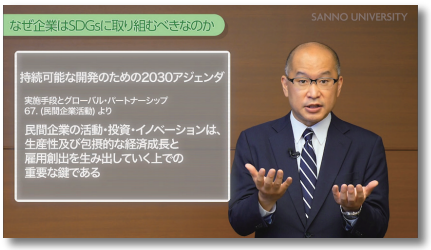
カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	コンプライアンスの基礎	01	企業活動とコンプライアンス
		02	コーポレートガバナンス
		03	内定者・新入社員のためのコンプライアンス
		04	情報セキュリティ
		05	個人情報保護
	ハラスメント	06	セクシュアル・ハラスメント防止
		07	パワー・ハラスメント防止
		08	マタニティ・ハラスメント防止
	ビジネスと法律	09	知的財産権
		10	下請法



※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

環境・SDGs①（50コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	地球環境を考える	01	「環境」の語源 NEW
		02	複雑に絡みあう環境問題
		03	有限な地球
		04	環境問題の解決に必要なこと
		05	海洋汚染
		06	有害廃棄物の越境移動
		07	生物種の絶滅
		08	外来種の侵入
		09	人口と環境
		10	オゾン層破壊
		11	ガレット・ハーディンの「共有地の悲劇」
		12	ローマクラブの『成長の限界』
		13	レイチェル・カーソンの『沈黙の春』
	環境保護の歩み	14	アジェンダ21
		15	日本の四大公害問題
		16	公害対策基本法から環境基本法へ
		17	国連人間環境会議
		18	環境アセスメント
	SDGs	19	持続可能な開発
		20	SDGsとは何か
		21	SDGsと企業価値
		22	SDGsへの取り組み
		23	再生可能エネルギー
		24	カーボンニュートラル
		25	地球温暖化 ～IPCCとCOP～
		26	地球温暖化 ～IPCC報告書の衝撃～
		27	地球温暖化 ～京都議定書とパリ協定～
		28	地球温暖化 ～解決のための国際的なコンセンサス～
	環境と企業	29	環境効率
		30	企業環境レポート
		31	グリーンコンシューマー
		32	環境保全と投資
		33	「社会的費用の内部化」とは何か
		34	ESGとは何か
		35	企業の環境管理 NEW
		36	環境に対する製造物責任 NEW

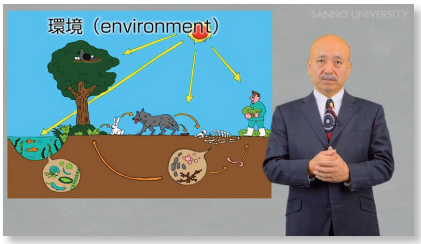


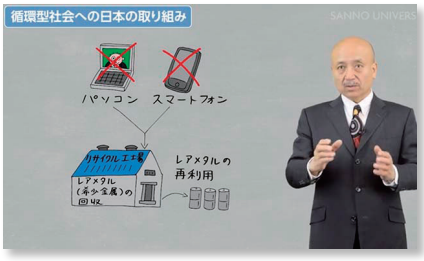
NEW 2024年1～10月リリース

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

環境・SDGs②（50コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	身近な環境問題	37	環境汚染と対策 ～水質汚染～
		38	環境汚染と対策 ～土壌汚染～
		39	環境汚染と対策 ～原子力発電所の事故～
		40	環境汚染と対策 ～セベソ事件とバーゼル条約～
		41	環境汚染と対策 ～廃棄物の種類、処理～
		42	感染性病原体 ～「感染症」とは何か～
		43	大気汚染と健康 ～浮遊粒子状物質～
		44	大気汚染と健康 ～アスベスト～
		45	大気汚染と健康 ～ダイオキシン類～
		46	大気汚染と健康 ～光化学オキシダント～
		47	大気汚染と健康 ～酸性雨～
カテゴリ2	SDGs	48	再生可能エネルギーの普及と問題点
		49	カーボンニュートラルと省エネルギー技術
		50	資源循環型社会





※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

グローバル（30コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	異文化理解	01	日本人と欧米人の思考法の違い
		02	高コンテキスト文化と低コンテキスト文化
		03	異文化適応と異文化不適応の基本概念
		04	グローバル環境における文化の構造 ～氷山モデル～
		05	日本とアメリカのジェスチャーの違い
		06	異文化コミュニケーションを学ぶということ
		07	自文化中心主義と多文化主義
		08	異文化衝突と摩擦
		09	異文化交流研究の歴史 ～ルース・ベネディクトとエドワード・ホール
		10	グローバルの視点から異文化コミュニケーションを考える
		11	偏見から生まれる差別的行動
		12	偏見をなくす方法
		13	日本人の持つ偏見
		14	接触仮説、カテゴリーの変更効果とエンパシーの効果
		15	差別問題とアメリカの現実
		16	文化による議論スタイルの違い
		17	フォーマル・インフォーマル
		18	日本人の特徴 ～シャイネス、コミュニケーション不安
		19	ナショナル・アイデンティティ
		20	「人種と民族」から「エスニシティ」へ
		21	近代社会の特徴とエスニシティ
	グローバル経営	22	グローバル化戦略①
		23	グローバル化戦略②
		24	グローバル化戦略における留意点
カテゴリ2	異文化理解	25	言語・文化の違いがコミュニケーションに影響を与える
		26	カルチャーショックと適応のプロセス
	異文化マネジメント	27	異文化環境でのメンバーの動機付け ～ケーススタディ
		28	異文化環境でのメンバーへの指示の出し方 ～ケーススタディ
		29	異文化環境でのチーム形成 ～ケーススタディ
		30	異文化環境でのメンバーへの人事評価フィードバック ～ケーススタディ

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

英語①（56コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	【心構え編】リチャード川口のネイティブ発音の鬼！	01	なぜ発音が大切なのか？
		02	発音はこれからでも間に合うのか？ ～大切なのは日本語との違い
		03	発音記号の捉え方 ～発音記号は友達！～
		04	Practice makes Perfect ～練習は裏切らない！
	【母音編】リチャード川口のネイティブ発音の鬼！	05	マスターしよう！ 母音 [æ]　しゃくれの「あ」
		06	マスターしよう！ 母音 [ɑ]　あくびの「あ」
		07	マスターしよう！ 母音 [ɔ:]　大口の「お」
		08	マスターしよう！ 母音 [ə]　あいまい母音
		09	おさえよう！ 母音 [i] [i:]　２種類の「い」
		10	おさえよう！ 母音 [u] [u:]　２種類の「う」
		11	おさえよう！ 母音 [e]　ちょっと大きめに開ける「え」
		12	モノにしよう！ 母音 [r]　舌を最初から引く音
		13	モノにしよう！ 母音 [r]　舌を途中から引く音
	【子音編】リチャード川口のネイティブ発音の鬼！	14	モノにしよう！　子音 [r]
		15	モノにしよう！ 子音 [l]　ライト [l]
		16	モノにしよう！ 子音 [l]　ダーク [l]
		17	身につけよう！ 子音 [θ]
		18	身につけよう！ 子音 [ð]
		19	身につけよう！ 子音 [f]
		20	身につけよう！ 子音 [v]
		21	1ランク上に近づく発音技！　子音 [w]
		22	1ランク上に近づく発音技！　子音 [j]
		23	1ランク上に近づく発音技！　子音 [s]
		24	1ランク上に近づく発音技！　子音 [ʃ]

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

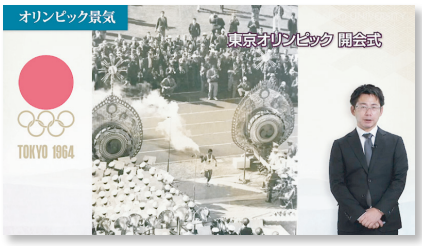
英語②（56コース）

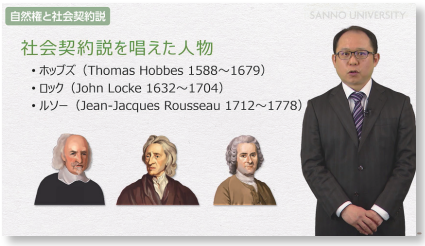
	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	【フィジカル編】リチャード川口のネイティブ発音の極意！	25	英語のノリをつかもう！ 単語のリズム
		26	英語のノリをつかもう！ 文章のリズム
		27	英語は口だけでなく・・・体でしゃべれ！
		28	息の吸い方から違う!? 呼吸法を伝授
		29	顔は口ほどにモノを言う？ 顔でしゃべれ！
	【マインド編】リチャード川口のネイティブ発音の極意！	30	丁寧すぎもだめなのよ 気楽にいこうぜ！
		31	「英語モード」へのスイッチの入れ方
		32	「ネイティブ発音の鬼」になるための優先順位
		33	Look at yourself. 今こんなにも発音できる自分に気づこう
		34	会話はハートとハートのぶつかりあい 心でしゃべれ！
	【表現編】リチャード川口の表現レーダー	35	表現レーダー「はじめまして」系
		36	表現レーダー「また会いましたね」系
		37	表現レーダー「お願い」系
		38	表現レーダー「了解しました」系
		39	表現レーダー「提案」系
		40	表現レーダー「相槌」系
		41	表現レーダー「すばらしい」系
		42	表現レーダー「さようなら」系
		43	表現レーダー「あのさ」系
		44	表現レーダー「なんて言いました」系
		45	表現レーダー「好き」系
		46	表現レーダー「どういたしまして」系
		47	表現レーダー「間、持たせ」系
		48	表現レーダー「お腹すいた」系
		49	表現レーダー「おいしい」系
		50	表現レーダー「まずい」系
		51	表現レーダー「かわいい」系
		52	表現レーダー「かっこいい」系
カテゴリ2	英語実践	53	英語でのスピーチ・プレゼン
		54	Gumi&Fumikoの英語ジェスチャー＆表情筋トレーニング
		55	旅行英会話　【入国審査・レストラン編】
		56	旅行英会話　【ショッピング・観光編】

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

リベラルアーツ①（73コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ1	日本の歴史と社会	01	歴史を見る視点
		02	古墳とヤマト政権
		03	荘園と武士団
		04	院政と平氏政権
		05	鎌倉幕府の成立
		06	戦国時代
		07	東アジア世界とヨーロッパ世界の接触
		08	豊臣政権
		09	江戸幕府の成立
		10	自由民権運動と士族反乱
		11	55年体制
		12	高度経済成長
		13	バブル経済
		14	北海道と沖縄の近代史
	日本の文化を知る	15	古代の文化の展開
		16	摂関政治と国風文化
		17	江戸時代の文化
		18	日本酒の杜氏制度
		19	伊丹と灘の酒造りの歴史
		20	日本のしきたりと日本酒 NEW
		21	日本酒と歳時記について NEW
	世界の歴史から国際情勢を考える	22	なぜ世界史を学ぶのか？
		23	世界史の視点 ～移動・宗教・科学技術と環境
		24	インダス文明
		25	メソポタミア文明
		26	エジプト文明
		27	ローマ帝国の成立 NEW
		28	チンギス・ハンとモンゴル帝国の成立 NEW
		29	フランス革命
		30	ナショナリズムの始まり NEW
		31	帝国主義と資本主義
		32	世界恐慌
		33	戦後アジア経済の復興 ～韓国の事例から
	宗教から国際社会を考える	34	宗教と社会
		35	仏教とヒンドゥ教
		36	キリスト教の誕生
		37	イスラームの源流
		38	宗教改革のその後
		39	日本の宗教の歴史 ー神道・仏教・キリスト教ー
	社会学	40	エスニシティ
		41	社会的ジレンマ
		42	資本主義と社会主義
		43	エスノセントリズム
		44	ジェンダー
		45	家族のあり方を取り巻く変化
		46	対義語から「社会」を理解する
		47	憲法と「社会」
	哲学	48	アリストテレスの弁論術 ～ロゴス・パトス・エトス～





NEW 2024年1～10月リリース

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

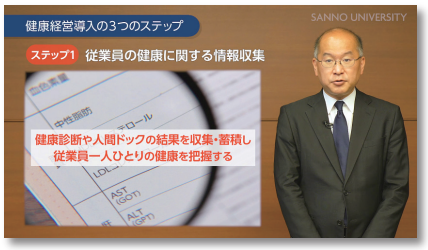
リベラルアーツ②（73コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ2	日本の歴史と社会	49	江戸のビジネスと三井越後屋
		50	日本の産業の勃興
		51	明治維新と日本の近代化
		52	明治の経済人 ～東の渋沢栄一、西の五代友厚
		53	第一次世界大戦と日本
		54	世界恐慌と国際的孤立を深める日本
		55	戦後日本の再出発
		56	戦後日本の産業再生
	日本の文化を知る	57	日本文化を知る ～日本酒の蔵元を訪ねて～
		58	日本文化を知る ～日本酒の基礎知識～
		59	日本文化を知る ～日本酒の提供方法とサービス～
		60	日本文化を知る ～日本酒のサービスプロモーション～
		61	日本文化を知る ～日本酒の味わい方・楽しみ方～
	世界の歴史から国際情勢を考える	62	中華帝国と儒教思想
		63	大航海時代がもたらしたもの
		64	アメリカ合衆国の発展 ～その光と影～
		65	国際連合・東西冷戦・パレスチナ問題
	社会学	66	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
カテゴリ3	自由が丘ブランディング	67	街のブランディングは地域特性が軸となる！ ～自由が丘はこうして形作られた
		68	街の発展はしくみと仕掛け次第 ～若い人材や外からの風を巻き込む自由が丘の工夫
		69	一歩先をいくインフラ整備が自由が丘に人を呼び込む
		70	ハード整備で人が行き交いやすい街をつくる ～独占インタビューつき「東急電鉄からみた街の取り組み」
		71	魅力を作って育てる！自由が丘のブランド形成
		72	自由が丘の更なる発展を生み出す産学連携 ～ちょっとブレイク！「自由が丘見どころWalk」つき
		73	自由が丘が直面する課題と未来への着眼点 ～次の理想は課題解決の中にある

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

ビジネストレンド（15コース）

カテゴリ		No.	コース名
カテゴリ1	新しい働き方	01	テレワークで働くということ
		02	テレワークとコミュニケーション
		03	テレワーク時代の人事評価
		04	テレワークでの仕事の進め方
		05	人的資本経営 NEW
		06	健康経営
		07	ジョブ型人事制度
		08	心理的安全性
		09	ウェルビーイング NEW
		10	エンゲージメント NEW
		11	人生100年時代のキャリア開発
	セルフマネジメント	12	ストレスとは
		13	ストレス要因への対応
		14	ストレスの解消法
		15	アンコンシャス・バイアス NEW



NEW 2024年1～10月リリース　NEW 2024年11月～2025年2月リリース予定

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

SANNO LIVE（22コース）

	カテゴリ	No.	コース名
カテゴリ3	CAMPUS LIVE	01	青年海外協力隊エイズ対策隊員 モザンビークでの異文化体験記
		02	Tポイントのイノベーションとビジネスモデル
		03	ワークショップデザイン論 コーディネートと関係性構築
		04	ホッピービバレッジ3代目の挑戦 ～人生節目の意思決定～
		05	湘南地域の消費特性と移動販売の可能性
		06	市民社会視点から考えるSDGs
		07	ユニバーサルデザインまちづくり
		08	サービス業の人材・組織のイノベーション
		09	障がい者の仕事づくりへの挑戦 NEW
		10	カゴメの人事制度 ～経営戦略と人事戦略の連動を目指して～ NEW
	FORUM LIVE	11	SANNOフォーラム【特別対談】マネジャー教育のあり方を問い直す
		12	SANNOフォーラム 管理職に求める役割を問い直す
		13	SANNOフォーラム【特別対談】テクニックに走らないファシリテーション
		14	SANNOフォーラム Z世代(今どき社員)の採用・人材育成を考察する
		15	SANNOフォーラム シニア活用を“真”に機能させるために NEW
		16	SANNOフォーラム DXを成功に導くために必要な人材とその育成方法
		17	SANNOフォーラム ビジネス英語教育のあり方を問い直す ～日本企業が陥りがちな勘違いからの脱却！ 今だからこそやるべきこと～
	SANNO SPECIAL	18	湘南ベルマーレに学ぶ組織の理念
		19	湘南ベルマーレに学ぶリーダーシップ
		20	湘南ベルマーレに学ぶモチベーションとコンフリクト
		21	湘南ベルマーレに学ぶ地域に根ざした人づくり
		22	パティシエ 辻口博啓氏・東急電鉄執行役員 東浦亮典氏 ～自由が丘人が語る自由が丘の魅力～

NEW 2024年1～10月リリース

※SANNO LIVEのコースは、過去の講義やライブ配信などを収録・編集した映像教材です。

※学習コースの内容・名称は変更になる場合があります。

学習者用機能

マイページで　学習サポート

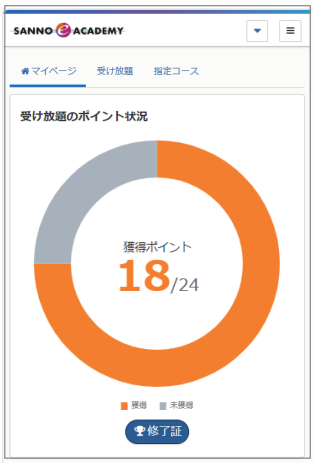
●ログイン後すぐにグラフで学習状況を把握できるため、学びの起点となります。

PC画面イメージ

ポイントの獲得状況が一目でわかる！

人気コースはこちら！

スマートフォン
画面イメージ



見やすい　コース一覧

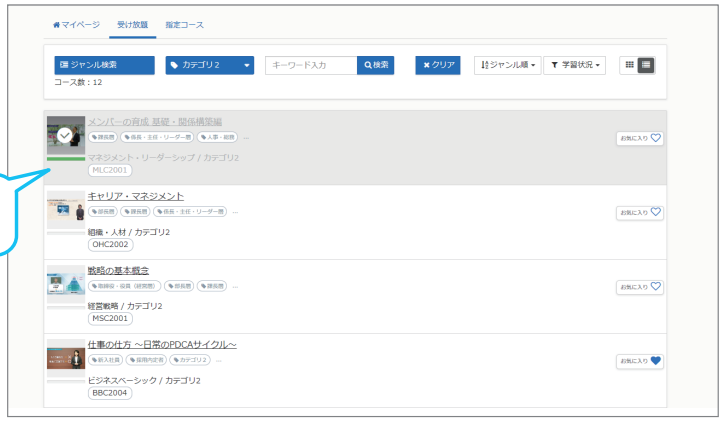
●「パネル表示」「リスト表示」の2種類の表示方法を切り替えることができます。

PC画面イメージ① <パネル表示>

進捗率が確認できる！

スマートフォン
画面イメージ①
<パネル表示>

PC画面イメージ② <リスト表示>



進捗率が確認できる！

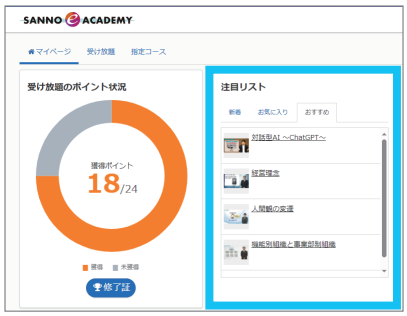
スマートフォン
画面イメージ②
<リスト表示>

興味・関心を広げる　レコメンド機能

●受講者の学習志向やユーザー情報を基におすすめのコースを紹介します。
●学習中のコースと関連度の高いコースが表示されます。
●意図しない学びに出会い、興味・関心の幅が広がることが「自律的な学習習慣」につながります。

学習志向 → 学習履歴

システムによるおすすめコースのご紹介

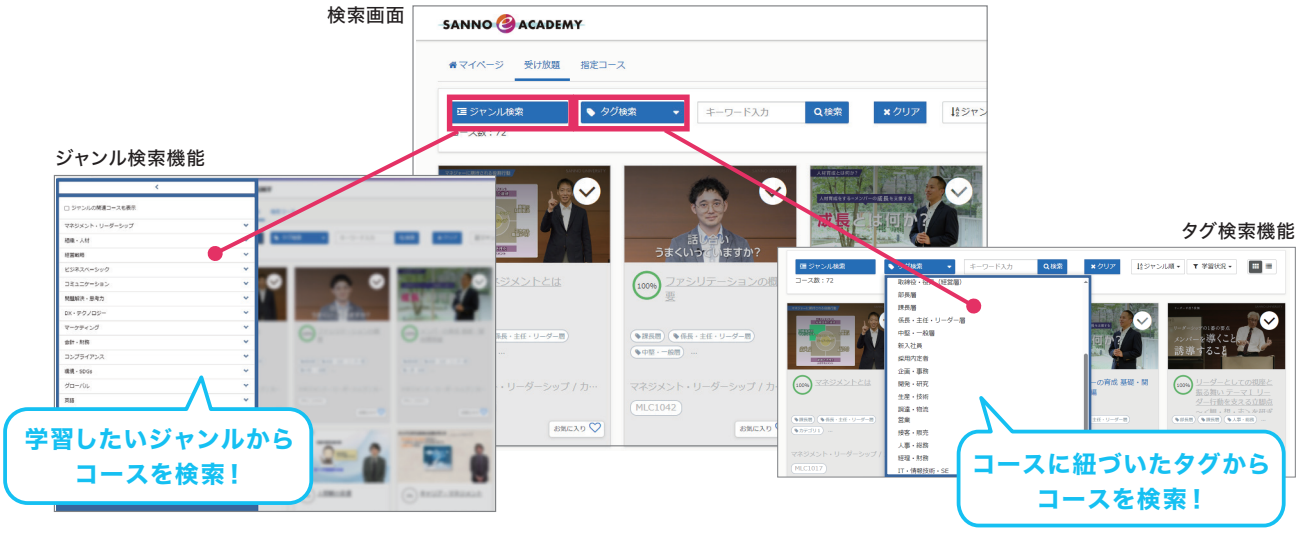


受講者におすすめのコース

学習中のコースと関連するコース

すぐに見つかる　検索機能

●キーワードによる検索のほかに「ジャンル検索機能」と「タグ検索機能」があります。
●受講するコースを見つけたい方にコース選択のきっかけを提供します。



仲間とつながる　コミュニティ機能

●「コミュニティ機能」を用いることで受講者同士でコミュニケーションをとることができ、学びを促進します。
●質問をする、コメントする、「いいね」を押すなど、SNSサイトのように活用できます。

活用イメージ

「20××年入社内定者」コミュニティ

皆さんが受講してみて面白かった、役に立ったコースを教えてください。私は「人生 100 年時代のキャリア開発」がおすすめです。今後のキャリアを考えるきっかけになると思います。

「会計・財務」ジャンルのコースを中心に受講しているけど、講師の熱量があってすごくわかりやすいですよ。

「ダイナミック・プライシング」や「オムニチャネル」などデジタルマーケティングに関するコースは、身の回りのサービスなどを深く知ることができて面白いですよ！

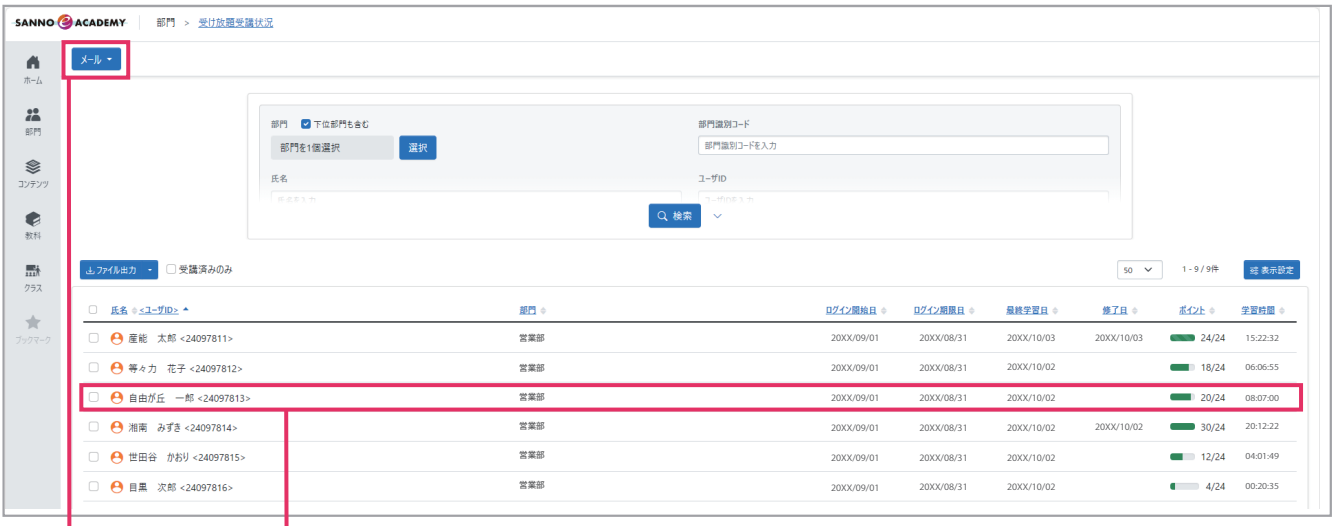
▶学びを共有することで、受講のモチベーションアップが期待できます！

管理者用機能

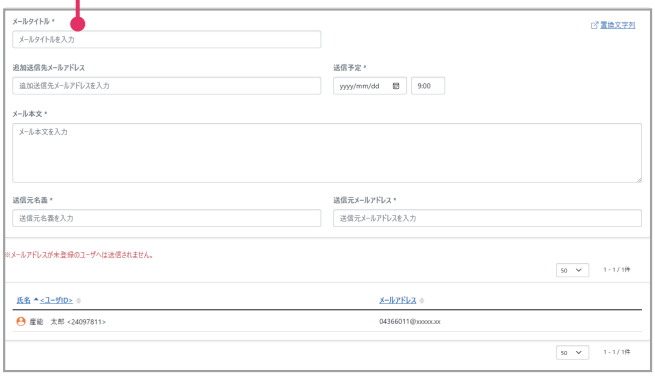
管理者用機能は、1契約につき1ID（ご担当者ID）のみご利用いただけます。

進捗状況・学習履歴確認

●受講者ごとの学習状況を一目で確認できます。
●学習履歴は、eラーニング進捗管理ページより、ExcelまたはCSVファイルでダウンロードすることも可能です。



	A	B	C	D	E	J	K	L	M	N	DA	DB	DC	DG	DH	DI
1	ユーザID	ユーザ名	ログイン回数	最終ログイン日時	社員番号	受講料	期間from	期間to	獲得ポイント数	修了基準ポイント数	ファシリテーションの概要			マネジメントとは		
2											状態	進捗率	点数	状態	進捗率	点数
3	24097811	産能 太郎	17	20**/10/03	10137026	17600	20**/09/01	20**/08/31	24	24	修了	100%	100点	修了	100%	100点
4	24097812	等々力 花子	4	20**/10/03	10146506	17600	20**/09/01	20**/08/31	18	24	修了	100%	100点	修了	100%	100点
5	24097813	自由が丘 一郎	1	20**/10/02	10084053	17600	20**/09/01	20**/08/31	20	24	未実施			修了	100%	100点
6	24097814	湘南 みずき	1	20**/10/02	10087627	17600	20**/09/01	20**/08/31	30	24	修了	100%	100点	修了	100%	100点
7	24097815	世田谷 かおり	1	20**/10/02	10075226	17600	20**/09/01	20**/08/31	12	24	未実施			未実施		
8	24097816	目黒 次郎	1	20**/10/02	10136309	17600	20**/09/01	20**/08/31	4	24	未実施			修了	100%	100点



プラットフォーム上から受講者にメールを送信できます。

●「期限終了間近で未学習の人がいる」「指定コースを学習していない」など、学習状況を確認しながら、受講促進、督促メールを送信することができます。

●複数名を選択して、一括のメール送信も可能です。

コミュニティ作成機能

●受講者の方々のコミュニケーションを促進し、相互学習の場をつくることができます。

コミュニティ作成例

●新入社員専用
●管理職専用
●指定コースの受講対象者専用

コミュニティルームの名称や公開期間、説明文などを設定することができます。

「指定コース」作成機能

●「受け放題」の約600のコースの中から組み合わせて、任意のプログラムにまとめる「指定コース」作成機能があります。
●学習目的に合わせてコースを設定することで、対象者に合わせた効果的な学習プログラムを提供できます。

活用イメージ

ご担当者

全社員を対象に SANNO e ACADEMY を導入しているけど、できれば、階層ごとに必要な知識に関連するコースを中心に学んでほしい。

SANNO e ACADEMY

約 600 コースから
自由にオリジナルの指定コースを作成！

指定コースの作成例

内定者・新人層

ビジネスベーシック
ビジネスマナーや仕事の進め方に関するコース

コミュニケーション
基礎的なコミュニケーション手法に関するコース

会計・財務
財務会計に関するコース

若手・中堅層

問題解決・思考力
基礎的な思考力・発想方法に関するコース

会計・財務
管理会計に関するコース

コンプライアンス
ハラスメント・各種法令に関するコース

リーダー層

マネジメント・リーダーシップ
リーダーシップ・メンバーの育成に関するコース

問題解決・思考力
問題発見・解決に関するコース

コミュニケーション
説得・交渉の手法に関するコース

管理者層

経営戦略
環境分析や経営戦略策定に関するコース

マネジメント・リーダーシップ
マネジメント・人事評価に関するコース

組織・人材
組織の在り方・デザインに関するコース

指定コース作成のポイント

●指定コース名は自由に変更可能
●何コースでも組み合わせることが可能
●学習コースの表示順序を指定することが可能

「指定コース」とは

SANNO e ACADEMY のコースを組み合わせて作成する任意のプログラムです。以下のような導入パターンがあります。

■自己啓発学習（受け放題プラン）

上記の「指定コース」作成機能を用いて、任意のコースの受講を推奨することができます。
お好きなタイミングでご担当者にて作成いただくことができます。

■対象者必須学習

特定の対象者に選択したコースを必須で受講させることができます。修了基準は、選択したコースすべての修了となります。
受講コースは事前に確定する必要があります。

活用パターン

「受け放題」や「指定コース学習」を
利用することによりさまざまな目的で
活用することができます。
主な活用パターンをご紹介します。

自己啓発学習

自己啓発制度のメニューの1つに、約600コースが受け放題の「SANNO e ACADEMY」を加えます。
「SANNO e ACADEMY」を単独で紹介するだけでなく、通信教育や他の学習手段と併用するなど、自社の状況に応じた形態で導入することができます。また、特定のテーマを中心に学習する「eシリーズ」を導入することもできます。

通信教育メニューの1つとして活用

通信教育を単独で紹介している自己啓発制度に、新たな学習手段として「SANNO e ACADEMY」を導入し、制度の活性化を図ります。学びのキッカケとして「SANNO e ACADEMY」を受講する、より深く学習したい場合には通信教育のコースを受講するなど、さまざまな学習手段と組み合わせることで、幅広い学びを可能とします。

＜募集用パンフレット＞

＜Web募集サイト＞

貴社専用のパンフレットやＷｅｂサイトで、通信教育とｅラーニングを併せて募集することができます。

導入のメリット

ご受講者

数多くのジャンル・コースの中から、自身の興味・関心に応じて学習することができます。
また、受け放題でさまざまなジャンルのコースが受講できることで、新たな分野への興味・関心を抱くことも期待できます。

ご担当者

プラットフォーム（管理者機能）上で随時、学習の進捗状況を確認できます。また、現在、成績報告Webサイト「SuperGrace」を利用している場合は、通信教育と併せて受講状況を確認することもできます。

受け放題と共に特定テーマの受講を推奨したい場合はこちら！

テーマ別「eシリーズ」

特定の知識・スキルを集中的に学習できるようにコースをピックアップしたものが「eシリーズ」です。ご受講者の課題に対応し、より効果の高い自己啓発支援が可能になります。
「eシリーズ」をお申し込みされた場合でも、全てのコースが受け放題サービスとしてご利用いただけます。

例えば、
社員全体の会計知識を
底上げしたい場合に・・・

eシリーズ 財務会計

＜カリキュラム＞

1 貸借対照表
2 損益計算書
3 損益計算書と貸借対照表の関係
4 会計でつまずくポイント1（利益剰余金）
5 会計でつまずくポイント2（売上原価）
6 会計でつまずくポイント3（減価償却）
7 財務3表の違い
8 利益とキャッシュの違い
9 キャッシュフロー計算書の概要
10 キャッシュフロー計算書を読み解く
11 財務諸表から会社を読み解く

導入事例紹介

eラーニングを取り入れた全社的な学習促進

業態	百貨店
社員数	1,000名以上
対象層	全社員

背景（ニーズ）

■例年、自己啓発学習は通信教育のみだったため教育のトレンド（eラーニング）を取り入れたい
■通信教育に加えて、学習ジャンルの選択肢を増やしたい
■タブレット端末を貸与していることもあり、手軽に学びやすい教材が欲しい

SANNO e ACADEMY 導入理由

1. 通信教育と同じような運用であり、受講者1名からでもIDを発行できる
2. 幅広いジャンルがありコース数が豊富である
（1つ1つが短くさまざまな講師の講義が聞けるオムニバス形式のため、多様なジャンルが学習できる）

人気コース&ジャンルランキング

※自己啓発学習（指定コースを除く）

人気コースランキング

順位	コース名	ジャンル
1	財務会計と管理会計とファイナンスの違い	会計・財務
2	貸借対照表	会計・財務
3	損益計算書	会計・財務
4	どうすれば論理的思考ができるのか	問題解決・思考力
5	思考力を伸ばすには	問題解決・思考力
6	思考力を発揮した問題解決	問題解決・思考力
7	DXとは	DX・テクノロジー
8	問題と課題の違い	問題解決・思考力
9	損益計算書と貸借対照表の関係	会計・財務
10	問題とは	問題解決・思考力
11	企業について考える	ビジネスベーシック
12	会計でつまずくポイント1（利益剰余金）	会計・財務
12	どうすれば問題を発見できるのか	問題解決・思考力
14	会計でつまずくポイント3（減価償却）	会計・財務
15	メラービアンの法則	コミュニケーション
15	情報分析とは何をどうすることなのか	問題解決・思考力

人気ジャンルランキング

順位	ジャンル名
1	会計・財務
2	問題解決・思考力
3	マネジメント・リーダーシップ
4	コミュニケーション
5	ビジネスベーシック
6	組織・人材
7	DX・テクノロジー
8	経営戦略
9	リベラルアーツ
10	英語

（2024年9月時点）

対象者必須学習

学習すべきテーマ、目的や対象者に応じて受講コースを指定することで、必要な知識やスキルを効率的に学ぶことができます。
他の研修等との組み合わせにより、学習効果を高めることも期待できます。

一斉教育の手段の１つとして活用

全社もしくは特定の部門や階層の課題に対応するために、それぞれに必要な知識・スキルの習得に合わせた「指定コース」を導入し、全社一斉教育、部門別教育や階層別教育に活用することで、貴社の課題に対応した一斉教育を行うことができます。また、指定コース以外のコースを受け放題として受講できるため、学びがより深まります。

[全社一斉教育]

全社でコンプライアンスを強化するため、全社員対象に「コンプライアンス」関連の指定コースを導入します。

全社員対象 → 指定コース①（コンプライアンス）

[部門別教育や階層別教育]

特定の部門、階層の課題に対応するため、それぞれに必要な知識やスキルの習得を目的に指定コースを導入します。

管理者対象	新入社員対象	営業部門対象
指定コース②（経営戦略）	指定コース③（マナー）	指定コース④（マーケティング）

導入のメリット

ご受講者

会社から指定されたコースを受講するので、求められているスキルや能力を意識しながら学習することができます。

ご担当者

いつでも、どこでも学習できるため、タイミングを逸することなく必要な教育を一斉に実施することができます。

他の研修と組み合わせて活用

研修を行う際、限りある時間の中での知識インプットは、研修設計上の課題の１つとなっています。
この知識インプットを「指定コース」で学習することで、研修をより実践的かつ効果的に進めることが可能となります。

[集合研修の事前・事後学習としての活用]

事前の知識インプットを「指定コース」による学習に置き換えることで集合する回数を減らすことができます。また、研修後も指定コース以外のコースを受け放題で受講できるため、学びがより深まります。

input → SANNO e ACADEMY　指定コース
基本的な知識の学習

output → 集合研修（リアル・オンライン）
参加者や講師との対話を通じて気づきを得る

input → SANNO e ACADEMY　指定コース/受け放題
研修を踏まえた振り返りや、関連知識のインプットを行う

[ワークショップ形式の研修期間中のインプットツールとしての活用]

ご受講者本人がワークショップに必要な知識を適宜選びながら学習できるため、一人ひとりのレベルに合わせた知識インプットが実現できます。そのため、集まる場ではアウトプットを作り出すことに集中でき、ワークショップ形式の研修の学習効果をより高めることができます。

<ワークショップ形式の研修との組み合わせ>

output
- 第1会合（集合研修（リアル・オンライン））
- 中間課題（職場での実践など）
- 第2会合（集合研修（リアル・オンライン））
- 中間課題（職場での実践など）

input
SANNO e ACADEMY　受け放題

ワークショップ形式の研修を進めていく中で、必要となる知識を適宜インプットする

導入のメリット

ご受講者

事前に必要な知識をインプットし、研修場面でアウトプットするプロセスを通じて、さらに理解を深めることができます。

ご担当者

時間や場所などの制約を踏まえて、状況に応じた研修の設計が可能となり、効果的なフォロー学習が可能です。

導入事例紹介　階層別教育として活用

指定コースを活用した内定者教育

業態	製造業
社員数	約500名
対象層	内定者

背景(ニーズ)

■内定者教育には、内定者の負担が少なく手軽な教材を使いたい
■内定段階で備えてほしい知識やスキルを習得させたい
■内定辞退防止策として、内定者同士の交流を深めたい

SANNO e ACADEMY 導入理由

1. 5分程度で受講できるコースが充実しており、手軽に受講しやすい
2. 内定者に受講してほしいコースを組み合わせて、独自の指定コースを作ることができる
3. コミュニティ機能を活用して、内定者同士の交流を図ることができる

SANNO e ACADEMY 活用施策

内定者に必要なスキルが身につくコースを、指定コースとして組み合わせて受講を促進した。

ジャンル
ビジネスベーシック
【コース名】身だしなみ
お辞儀の仕方
名刺交換
来客応対のマナー
携帯電話のマナー
仕事への向き合い方
自ら考え抜く
仕事の段取り
仕事の仕方 ～指示・命令の受け方～
あいさつ
敬語(作り方)
席次のマナー
SNSの心得
新入社員としての心得
周囲の期待に応える
報告・連絡・相談
段取り力

ジャンル
コミュニケーション
【コース名】コミュニケーションとは
ジョハリの窓
メラービアンの法則

ジャンル
問題解決・思考力
【コース名】問題とは
どうすれば論理的思考ができるのか
論理的な筋道の立て方 ～演繹的アプローチ～
論理的な筋道の立て方 ～帰納的アプローチ～
論理的思考の原則 ～MECE～
ロジックツリー

導入事例紹介　集合研修の事前・事後学習としての活用

事務職向けアカウンティグ研修の事前課題

業態	総合設備
社員数	5,000名以上
対象層	事務職

背景(ニーズ)

■アカウンティングの基礎知識を事前に習得して研修に参加してほしい
■新規事業をシミュレーションすることで経営の感覚をつかんでほしい
■経営のためのアカウンティングに関する知識を定着させたい

SANNO e ACADEMY 導入理由

1. SANNO e ACADEMYに登場する講師を研修講師としてアサインすることで、アカウンティング教育に一貫性を持たせることができる
2. 財務会計の基本知識を事前課題とすることができる
3. 指定コース以外にも学びたいコンテンツを、受講者自身が自由に選んで学べる

SANNO e ACADEMY 活用施策

アカウンティング研修の事前・事後課題として指定コースを受講し、研修では演習中心にアウトプットするカリキュラムにした。
その後は受け放題の全コースを自由に学べる構成にした。

SANNO e ACADEMY 指定コース学習(input)

【財務会計と管理会計】
財務会計と管理会計とファイナンスの違い

【管理会計】
財務3表の違い
貸借対照表
損益計算書
損益計算書と貸借対照表の関係

→

集合研修やオンライン研修(output)

参加者や講師との対話を通じて気づきを得る

・SANNO e ACADEMYで学んだ知識の定着が促進される

・受講者同士の意見交換に、より多くの時間を割くことができる

→

SANNO e ACADEMY 指定コース学習ほか(input)

研修を踏まえた振り返りや、関連知識のインプットを行う

【管理会計】
損益分岐点1(費用を分解する)
損益分岐点2(いくら販売すればいいのかを考える)
損益分岐点3(損益分岐点の改善)
損益分岐点4(変動費型企業と固定費型企業)
利益率を高める5つのパターン
コスト削減の考え方

当サービスのご案内

サービス概要

当サービスは約600のコースから好きなだけ学習できるサービスです。

年間プラン：17,600円（税込）／人　　半年プラン：9,900円（税込）／人

＜推奨（想定）学習時間＞　年間プラン：48時間　半年プラン：24時間

※推奨（想定）学習時間とは、ご受講者が自ら学び続ける習慣をつけるために、本学が推奨（想定）する学習時間です。

お申し込みについて

[お申し込み・開講]

お申し込みの際には、メールアドレスが必要です。開講は毎月1・15日です。
開講の15日前までにいただいたお申し込みについては、原則として開講日にご受講者宛にログイン用IDをメールにて送信いたします。

[お支払い]

開講日の約10日後に指定された宛先に受講料の請求書をお送りします。開講後2か月以内にお支払いください。

[キャンセル]

●キャンセルのお申し出につきましては、本学担当アドバイザーまでご連絡ください。
　返金の振込手数料など、返金にかかる費用は申し込まれたご本人様のご負担となります。

●ただし、開講日を過ぎている場合には、キャンセルをお受けいたしかねますので、ご了承ください。

修了基準

当サービスでは、ご受講者が1コース修了するごとにポイント（下表2.①）が付与されます。
付与されたポイントの合計が修了基準ポイント（下表2.②）以上でSANNO e ACADEMYの修了となります。

※指定コース学習として受講したコースは、ポイントの対象となりません。

1. 1コースあたりの修了基準　※①②両方の基準を満たす必要があります。

① 視聴時間	すべての動画を視聴する
② 確認テスト	合格点（100点満点）を獲得する

2. SANNO e ACADEMYの修了基準

① 各コースのポイント	カテゴリごとに付与されるポイントが異なります。 カテゴリ1…1ポイント / カテゴリ2…2ポイント / カテゴリ3…3ポイント
② 修了基準	年間プラン：24ポイント獲得 半年プラン：12ポイント獲得

※通信教育とは異なり、優秀修了はございません。
※指定コース学習の場合は、修了基準が異なります。

[修了証について]

修了証の郵送はございません。
ご受講者自身でSANNO e ACADEMYのマイページ上からダウンロードいただきます。
また、ご担当者も管理者サイトから、ダウンロードいただけます。
（ご受講者ごとのダウンロードはもちろん、表示されているご受講者を一括でダウンロードすることもできます。）

＜ご受講者マイページ＞

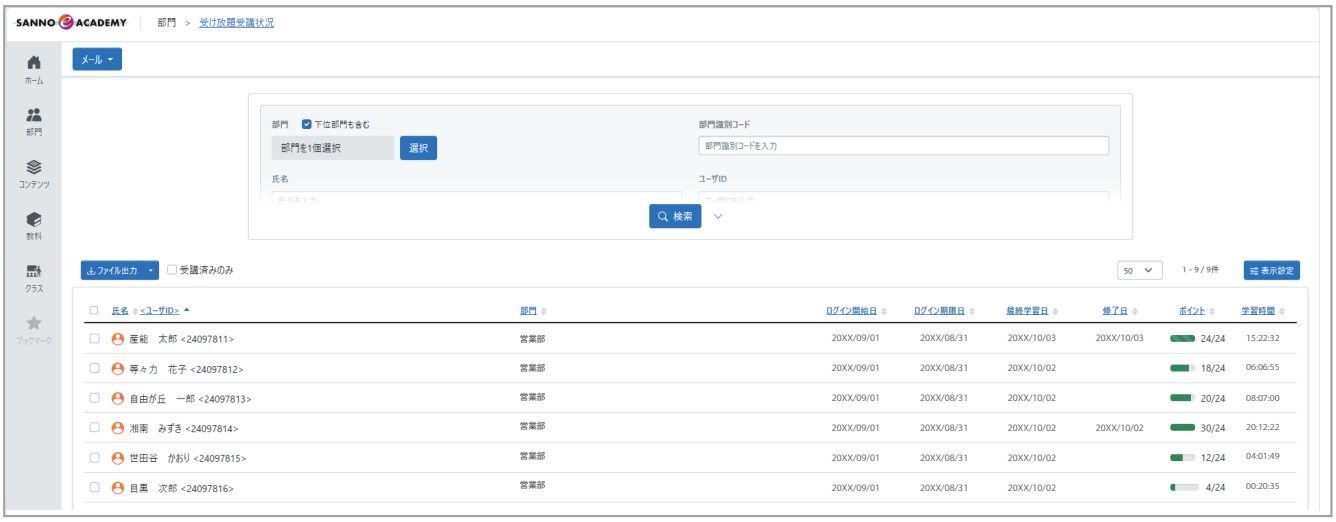
＜管理者サイト＞

受講状況の確認

ご担当者は下記２点の方法で、受講状況をご確認いただけます。ご担当者IDは１契約につき１IDのみの付与となります。

① プラットフォーム（管理者機能）上の進捗状況確認機能

ご受講者ごとの受講状況や全体の受講状況の詳細を確認できます。



② 成績報告Webサイト「SuperGrace」

一部の情報に限られますが、通信教育と併せてご確認いただけます。

通信教育同様に成績報告Webサイト「SuperGrace」から受講状況をご確認いただけます。
ご利用時は下記注意点をご確認ください。

ログイン画面イメージ

ご利用にあたっての注意点

- 事前にご利用登録が必要です。
- SANNO e ACADEMYの受講状況を確認する場合は、「(学)産業能率大学 eラーニング」をご確認ください。また、SANNO e ACADEMYでは、「SuperGrace」で確認できるご受講者の情報が通信教育とは異なります。
- 「受講者名や社員番号等の属性情報」「開講・在籍年月日」「受講状況」の3項目のみ表示されます。
  ※「科目数・平均点」「単位別情報」は表示されません。
- 「受講状況」は「受講中」「修了」「除籍」の3種類のみ表示されます。

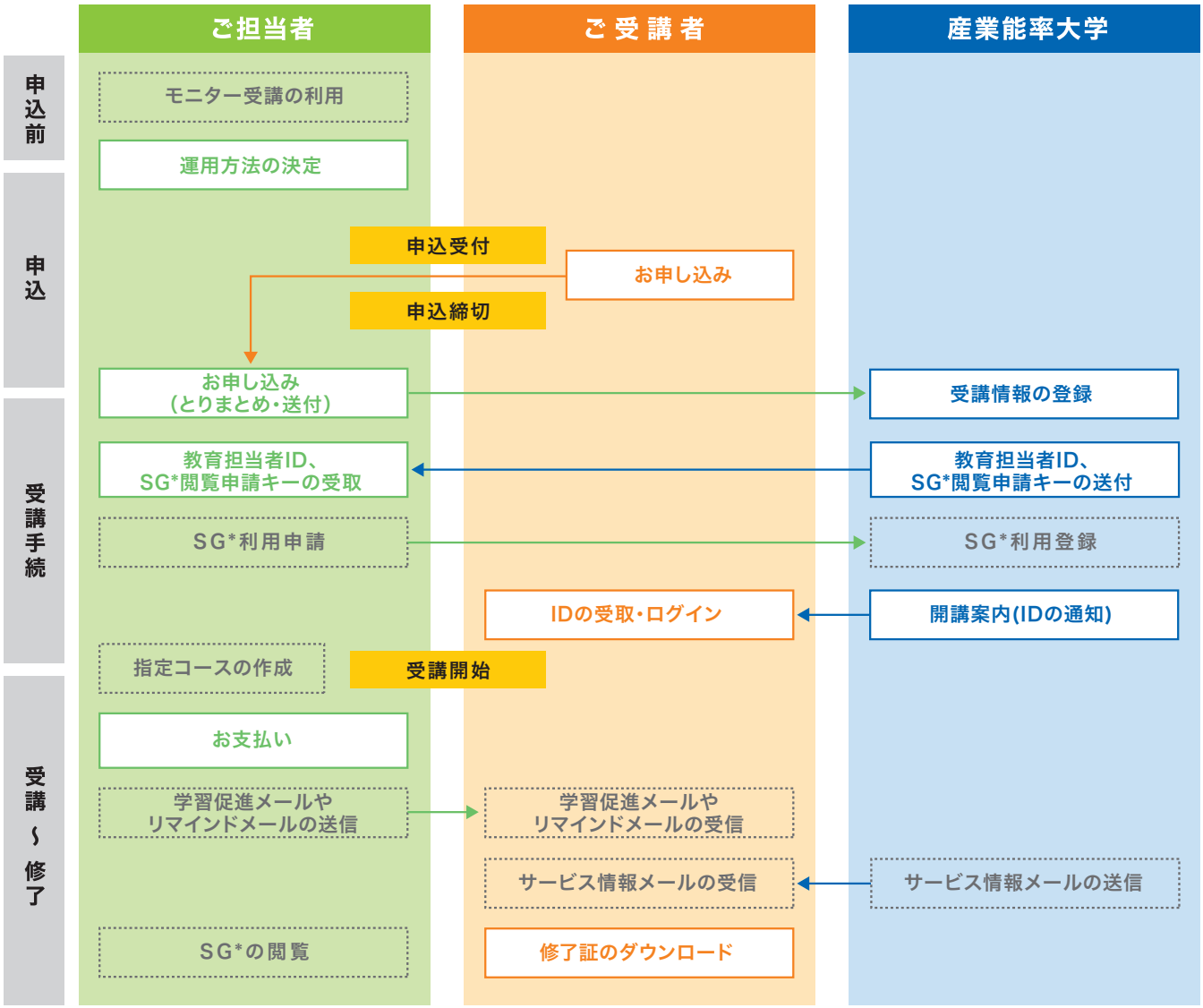
デモサイトのご案内

デモサイトをご覧になりたい場合は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
https://www.hj.sanno.ac.jp/cart/cp/inquiry/form

運用フロー

下図はSANNO e ACADEMYを利用する際の標準的な流れです。

[ ] の項目は、必要な場合のみ発生するフローです。



*SG＝SuperGrace（成績報告Webサイト）

動作環境

学習者用	
Microsoft Windows	Windows 11[64ビット版] Microsoft Edge Chromium 128[デスクトップ版] Google Chrome 128[デスクトップ版]
	Windows 10[64ビット版] Microsoft Edge Chromium 128[デスクトップ版] Google Chrome 128[デスクトップ版]
macOS	macOS v14.3.1 Sonoma / Safari 17.6.1 または Google Chrome 128 macOS v13.5.1 Ventura / Safari 16.6 macOS v12.5 Monterey / Safari 15.6
Android	Android 14.0 / Chrome 検証端末　Pixel8(機種型番:GZPF0) Android 13.0 / Chrome 検証端末　Pixel6a(機種型番:GB17L)
iOS	iOS 17.6.1 / Safari 検証端末　iPhone16 Pro Max(機種型番:MWHH2J/A) iOS 16.5 / Safari 検証端末　iPhone14(機種型番:MPUQ3J/A)
iPadOS	iPadOS 17 / Safari iPadOS 16 / Safari

管理者用	
Microsoft Windows	Windows 11[64ビット版] Microsoft Edge Chromium 128[デスクトップ版] Google Chrome 128[デスクトップ版]
	Windows 10[64ビット版] Microsoft Edge Chromium 128[デスクトップ版] Google Chrome 128[デスクトップ版]
macOS	macOS v14.3.1 Sonoma / Safari 17.6.1 または Google Chrome 128 macOS v13.5.1 Ventura / Safari 16.6 macOS v12.5 Monterey / Safari 15.6

(2024年10月現在)

最新の動作環境は、産業能率大学のホームページをご確認ください。

https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/eacademy/faq/recommend/

SANNO e ACADEMY導入のご検討やその他に関するお問い合わせ

■東京・東北・中国・四国（香川・愛媛）・九州・沖縄エリアのお客様

E-mail order@hj.sanno.ac.jp　TEL 03-5758-5110

■関東（東京を除く）・甲信越・中部（静岡東部）・北陸（富山・石川）・北海道エリアのお客様

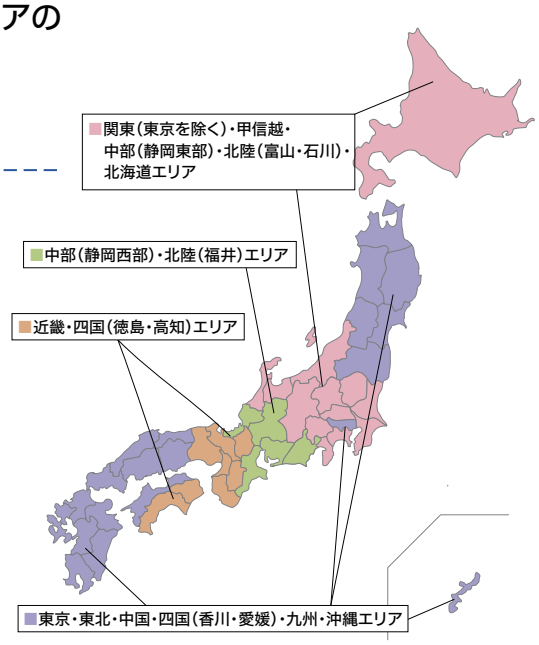
E-mail eastj_sc@hj.sanno.ac.jp　TEL 03-3282-1112

■中部（静岡西部）・北陸（福井）エリアのお客様

E-mail ch_mail@hj.sanno.ac.jp　TEL 052-561-4550

■近畿・四国（徳島・高知）エリアのお客様

E-mail sanno-west@hj.sanno.ac.jp　TEL 06-6315-0333



※静岡東部：富士市以東　静岡西部：静岡市以西　※受付時間：9:00～17:00（全エリア共通 土・日・祝日除く）

学校法人 産業能率大学 総合研究所

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/eacademy/

34817010001